シラバス（後期） 宮崎医療福祉専門学校

授業科目	在宅看護論　Ⅰ			時 間 数	15
学　　科	看護学科	学　　年	1	単 位 数	1
担当講師	髙山　幸子	取得資格	看護師		
		実務経験	有・無（有に印）	経験年数	18
授業内容	在宅看護の目的と特徴、在宅看護の対象者、在宅療養の支援 在宅看護にかかわる法令・制度とその活用				
到達目標	1. 地域看護の概念を学び、在宅看護及び訪問看護の位置づけと特性を理解できる。 2. 地域で生活しながら療養する人々とその家族を総合的に理解できる。 3. 地域でその人らしく生活するための支援方法が理解できる。				

授業計画

No	授　業　内　容
1	在宅看護の目的と特徴、在宅看護を実践する看護師の役割と機能
2	在宅看護の対象者とその特徴
3	在宅看護の対象者としての家族
4	在宅療養の提供の場とそれぞれの特徴
5	療養の場の移行における支援、退院支援と退院調整、地域における多職種連携
6	在宅看護における法令・制度（介護保険制度）
7	在宅看護における法令・制度（訪問看護制度）
8	ケアマネジメントと社会資源の活用とまとめ
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

テキスト 参考書等	系統看護学講座　在宅看護論　　医学書院 国民衛生の動向
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	筆記試験　出席認定

シラバス（前期） 宮崎医療福祉専門学校

授業科目	在宅看護論Ⅱ－1			時 間 数	15
学　　科	看護学科	学　　年	2	単 位 数	1
担当講師	髙山　幸子	取得資格	看護師		
		実務経験	有（選択）・ 無	経験年数	18
授業内容	在宅看護展開のポイント、在宅看護における看護展開の方法、療養上のリスクマネジメント、在宅看護における権利保障				
到達目標	1. その人らしい生活を支援するための看護の視点を理解できる。 2. 在宅看護過程の方法について理解できる。				

授業計画

No	授　業　内　容
1	在宅看護展開のポイント
2	在宅看護介入時期別の特徴
3	在宅看護過程の特徴、在宅看護過程展開の方法（情報収集とアセスメント）
4	在宅看護過程展開の方法（目標設定と実施評価）
5	在宅看護における医療事故、感染防止などリスクマネジメント
6	在宅看護における災害時の役割と対応
7	対象者の権利保障について
8	在宅看護過程の視点などのまとめ（難病法などの振り返りと介護保険改定分）
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

テキスト 参考書等	系統看護学講座　在宅看護論　医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	筆記試験　　出席認定

シラバス（後期） 宮崎医療福祉専門学校

授業科目	在宅看護論Ⅱ―2			時間数	30
学科	在宅看護論	学年	2年次	単位数	1
担当講師	柳田　ゆかり	取得資格	看護師		
		実務経験	有・無（有に囲み）	経験年数	33
授業内容	在宅看護におけるコミュニケーション 在宅看護技術 在宅で行われている医療処置				
到達目標	1．在宅看護に必要とされる援助技術を原理・原則をふまえた上で、対象の生活に合わせて工夫することができる。 2．在宅看護での終末期看護について理解できる。 3．対象を尊重した訪問時のマネーを身につけることができる。				

授業計画

No	授業内容
1	在宅看護活動におけるコミュニケーション（対象者の支援、信頼の構築）と在宅看護展開のポイント
2	呼吸に関する在宅看護技術
3	食生活・嚥下に関する在宅看護技術
4	排泄に関する在宅看護技術
5	移動・移乗に関する在宅看護技術
6	認知機能に関するアセスメント法と援助技術、シャワー浴介助・爪切り
7	在宅における終末期看護の展開、在宅での洗髪
8	在宅で行われている医療処置、褥瘡
9	在宅で行われている医療処置、尿道留置カテーテル
10	在宅で行われている医療処置、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）
11	在宅で行われている医療処置、経管栄養・胃瘻
12	在宅で行われている医療処置、在宅中心静脈栄養法（HPN）・非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）
13	在宅で行われている医療処置、在宅酸素療法（HOT）
14	在宅で行われている医療処置、在宅人工呼吸療法（HMV）と排痰法
15	在宅で行われている医療処置、疼痛管理

テキスト 参考書等	系統看護学講座在宅看護論　医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	筆記試験　実技試験　出席認定

シラバス（前期） 宮崎医療福祉専門学校

授業科目	在宅看護論Ⅲ			時 間 数	30
学　　科	看護学科	学　　年	3	単 位 数	1
担当講師	髙山　幸子	取得資格	看護師		
		実務経験	有・無（有に囲み）	経験年数	18
授業内容	在宅看護における看護過程の展開、在宅看護の実際、在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法				
到達目標	在宅療養者及びその家族に対する看護過程を展開し、在宅看護に必要とされる知識・技術・態度を統合させせることができる。				

授業計画

No	授　業　内　容
1	在宅看護における看護過程の展開（情報収集の視点の理解、事例の情報の整理・分析・統合）
2	看護過程の展開の実際（事例から情報収集とアセスメント・分析:COPD事例）
3	看護過程の展開の実際（事例情報収集の視点と分析修正）
4	看護過程の展開の実際（事例から分析・統合し問題の抽出）
5	看護過程の展開の実際（居宅サービス計画書や指示書からの情報収集の仕方:COPD事例）
6	看護過程の展開の実際（居宅サービス計画書や指示書からの情報収集:COPD事例）
7	看護過程の展開の実際（情報の整理から分析・統合まで:COPD事例）
8	看護過程の展開の実際（問題の抽出と看護計画立案:COPD事例）
9	事例をもとに問題の抽出と看護計画のグループディスカッション
10	在宅看護の実施、事例を基にロールプレイ（グループにて実施）
11	在宅看護の実施、事例を基にロールプレイ（振り返り）
12	看護過程の展開の実際（ロールプレイを基にSOAP記載:COPD事例）
13	在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法の実際（医療機器業者による説明）
14	在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法の実際
15	在宅看護論のまとめ（マナーなど注意点）、試験

テキスト 参考書等	系統看護学講座　在宅看護論　医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	筆記試験・レポート・出席認定

シラバス（前期） 宮崎医療福祉専門学校

授業科目	看護管理			時間数	３０
学　　科	看護学科	学　　年	3	単位数	1
担当講師	岩﨑　博子	取得資格	看護師・救急救命士		
		実務経験	有・無	経験年数	12 年
授業内容	看護管理とは　看護管理者の役割　看護体制，医療保健チームとの連携 チームワーク　キャリアアップ　看護の国際協力				
到達目標	看護の機能と役割を明確にし、福祉･医療の中の看護職の役割を理解する よりよい看護サービス実践のための看護管理の重要性を理解する 看護の国際協力の必要性を理解する				

授業計画

No	授　業　内　容
1	看護管理･マネジメントとは
2	看護管理者に求められるもの　看護師全てに求められるもの
3	新人看護師に求められるもの
4	看護をとりまく法律制度　組織
5	看護体制とチームワーク　他職種との連携
6	多重課題の対処とケア計画
7	看護管理と安全管理体制
8	看護管理の実際
9	看護管理の評価
10	看護職と生涯学習　キャリアアップ
11	世界について知ることから始めようーMDGsと健康
12	国際協力の仕組み　プライマリーヘルスケア
13	JICA の活動の実際
14	女性であることを取り巻く状況　世界の貧困と経済格差
15	HIV／AIDS とスティグマ

テキスト 参考書等	看護管理看護研究看護制度:メジカルフレンド社 看護の統合と実践①マネジメント･医療安全:メシカルフレンド社 系統看護学講座　基礎看護学 I 看護学概論　:医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	筆記試験　レポート提出　出席認定

シラバス（ 前期 ） 宮崎医療福祉専門学校

授業科目	災害看護				15
学　　科	看護学科	学　　年	3	単 位 数	1
担当講師	黒木　順子	取得資格	看護師		
		実務経験	有 ・無	経験年数	38 年
授業内容	過去の大規模災害における看護活動の経験知を基盤に、災害が地域や人々の健康と生活に多大な影響を及ぼすことを理解し、災害サイクル各期や活動現場に応じた被災者の健康や生活のニーズに対する看護の果たす役割について学ぶ。				
到達目標	1. 災害及び災害看護に関する基本的知識を理解する。 2. 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響を理解する。 3. 災害時に看護が果たすべき役割、災害サイクルにおける看護支援活動を理解する。 4. 災害時における事例をもとに倫理的判断が述べられる。				

授業計画

No	授　業　内　容
1	災害及び災害看護に関する基礎的知識 （歴史・定義・種類・疾病構造・サイクル・関連死・要援護者）
2	災害発生時の社会の対応やしくみ（制度・情報と伝達のしくみ・支援体制・個人の備え・ボランティア）
3	災害時の被災者および援助者の心理（被災者・援助者のストレスと心のケア・心のトリアージ）
4	災害各期における看護活動（災害サイクル各期の看護活動・在宅・避難所・仮設住宅・公営住宅での看護）
5	災害時に必要な技術（トリアージ・治療・搬送）
6	病院における災害看護（災害への備え・初動体制・災害訓練）
7	災害看護における倫理・教育・理論（倫理原則・教育《期待される能力援助者の基本姿勢》・災害看護理論）
8	対象別にみた災害看護の実践（地域・母性・小児・高齢者・精神・慢性期・感染）
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

テキスト 参考書等	教科書：災害看護（南江堂） 参考図書：災害現場でのトリアージと応急処置（日本看護協会出版会）
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定、レポート、筆記試験

シラバス（前期） 宮崎医療福祉専門学校

授業科目	統合看護技術			時 間 数	３０
学　　科	看護学科	学　　年	3	単 位 数	1
担当講師	岩﨑　博子	取得資格	看護師・救急救命士		
		実務経験	有 ・ 無	経験年数	12 年
授業内容	紙上事例(胃がんで胃切除を受けた対象)の看護 看護計画･ケア手順作成　ケアのプレゼンテーション　術後1日目の観察と離床の援助				
到達目標	１．事例のアセスメントから看護計画･ケア手順を作成できる ２．実習で学んだ知識技術を統合し、患者の援助を安全に実践できる				

授業計画

No	授　業　内　容
1	事例の看護過程の展開に必要な知識のまとめ①(病態生理･症状･検査)
2	事例の看護過程の展開に必要な知識のまとめ②(治療･手術後の経過　看護)
3	事例の看護過程の展開①(　アセスメント　関連図　)
4	事例の看護過程の展開②看護の方法性　(全体カンファレンス)
5	事例の看護過程の展開②看護計画作成(クリティカルパス作成)
6	事例の看護過程の展開④看護計画発表
7	事例の看護に必要な看護技術の抽出
8	事例の看護に必要な看護技術の個別性の検討
9	事例の術後 1 日目に看護技術の手順(目的･必要物品･方法･留意点)作成(個人)
10	事例の術後 1 日目に必要な看護技術の手順作成(グループ)
11	事例の術後 1 日目に必要な看護技術の手順のプレゼンテーション
12	看護技術手順の見直し(追加修正)
13	看護技術(術後 1 日目の観察･離床の援助)の演習①
14	看護技術(術後 1 日目の観察･離床の援助)の演習②
15	看護技術の実技試験(OSCE)

テキスト 参考書等	事例の看護過程に必要な書籍･資料
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	筆記試験（６０％）レポート提出とプレゼンテーション（１０％） ＯＳＣＥ（実技試験）（３０％）　　出席認定

シラバス（前期） 宮崎医療福祉専門学校

授業科目	医療安全			時間数	３０
学　科	看護学科	学　年	２	単位数	１
担当講師	平野　靖子	取得資格	看護師		
		実務経験	有 ・ 無	経験年数	１３
授業内容	・医療安全の基礎知識 ・看護業務上の危険と防止策 ・危険予知訓練 ・危険の種類による医療安全対策 ・演習：事例の分析と対策 ・演習：KYTシート				
到達目標	医療安全の基本的な考え方を習得する。 危険の種類別にみた医療安全対策が理解できる。 実際の事故事例から医療事故防止の知識をみにつける。 医療事故防止の知識を豊富にし、自己モニタリング力をつける。				

授業計画

No	授　業　内　容
1	医療安全の基礎知識（医療安全を学ぶ意義と動向、事例を用いた医療安全の考え方）
2	医療安全の基礎知識（医療安全と看護倫理対策、事例を用いた医療安全の考え方）
3	医療安全の基礎知識（用語の定義と具体例のGWまとめ発表、ﾋｭｰﾏﾝｴﾗｰとその対策）
4	危険の種類による医療安全対策（ﾋｭｰﾏﾝｴﾗｰとその対策、事故発生のメカニズム）
5	危険の種類による医療安全対策（誤薬と誤嚥防止対策、事例を用いての検討）
6	危険の種類による医療安全対策（患者誤認と防止対策、事例を用いてのGWまとめ発表）
7	危険の種類による医療安全対策（針刺し事故と防止対策、転倒転落と防止策、事例で検討）
8	看護業務上の危険と防止策（医療機器、用具トラブル防止対策）
9	看護業務上の危険と防止策（感染防止、医薬品への曝露防止対策）
10	看護業務上の危険と防止策（労働形態、作業に伴う防止対策）
11	演習（ヒヤリハット事例及び事故事例を用いた事例の分析・対策）
12	演習（ヒヤリハット事例及び事故事例を用いた事例の分析・対策）
13	演習（ヒヤリハット事例及び事故事例を用いた事例の分析・対策、まとめ発表）
14	演習（危険予知訓練、事例を用いてのKYTシート）
15	演習（危険予知訓練、事例を用いてのKYTシート、まとめ発表）医療安全講義のまとめ

テキスト 参考書等	医療安全　看護の統合と実践　メディカ出版 危険予知トレーニング　メディカ出版、医療安全のキホン　秀和システム 防げたはずのエラーが起こる瞬間　メディカ出版、医療安全　医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定、レポート評価、筆記試験